

令和 4年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	下水道施設管理課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	4
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
予算科目	下水道事業会計収益的支出	1 款	1 項	2 目		
事業名称	ポンプ場事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	諸収入	企業債	下水道使用料等
令和4年度	3,326,154			16,870		3,309,284
補助事業						0
単独事業						0
令和3年度	3,038,108			24,083		3,014,025
増△減	288,046	0	0	△7,213	0	295,259

支出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費	2,102,056	2,595,573	2,839,145	3,428,580	3,512,580
企業債+下水道使用料等	2,100,106	2,593,577	2,821,602	3,428,580	3,512,580	3,596,580
決算	1,547,275	1,948,730	1,824,629			
算	1,545,279	1,924,704	1,807,785			

事業概要	12か所の汚水中継ポンプ場、14か所の雨水排水ポンプ場及び45か所のその他のポンプ場の維持管理。所管水再生センターの汚水圧送及び雨水排水により、浸水の防止を図る。							
事業開始年度	昭和37年度							
根拠法令・方針決裁等	地方自治法、地方公営企業法、下水道法、横浜市下水道条例、水質汚濁防止法、公害対策基本法、神奈川県生活環境の保全に関する条例、大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、公衆健康被害保障法							
事業目的・効果(必要性)	ポンプ場では、雨水を速やかに排除することで浸水を防止するとともに、家庭などからの自然流下が困難な汚水を水再生センターへ送水します。主ポンプや自家発電設備などの主要設備については、予防保全型の維持管理により計画的な修繕を推進し、長寿命化を図ります。							
根拠・データ等	令和2年度水再生センター等運転管理年報							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
汚水中継ポンプ場	単位	目標	11	12	12	12	12	12
	か所	実績	11	12				
雨水排水ポンプ場	単位	目標	15	14	14	14	14	14
	か所	実績	15	14				
ポンプ場揚水量	単位	目標	255,266,862	255,343,862	255,343,862	253,977,890	253,977,890	253,977,890
	m3/年	実績	273,308,709	256,924,491				
事業スケジュール	通年							

(単位：千円)

細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① ポンプ場事業	3,326,154	3,038,108	288,046
②			0	
③			0	
④			0	
⑤			0	
⑥			0	
⑦			0	
⑧			0	
⑨			0	
⑩			0	
細事業合計	3,326,154	3,038,108	288,046	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	北部管理担当
	大橋 洋明	小澤 俊久	坂本 和彦